

2022年度 小委員会活動成果報告

(2023年2月20日作成)

小委員会名	フライアッシュを使用するコンクリートの調合設計・施工指針改定小委員会	主査名：野口 貴文 就任年月：2022年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (環境配慮運営委員会)	委員長名：橘高 義典 主査名：小山 明男
設置期間	2022年4月 ～ 2023年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	石炭火力発電所から発生するフライアッシュの建築物への有効利用を目的に「フライアッシュを使用するコンクリートの調合設計・施工指針・同解説」が1999年に発刊され、2007年に改定が行われた。しかし、その後のJASS 5の大幅改定(2009年)やJIS A 6201の改正(2015年)などを反映する必要性が生じている。また、環境配慮の側面からの評価も必要となる。本小委員会は、同書の改定を目的とする。 初年度:「フライアッシュを使用するコンクリートの調合設計・施工指針・同解説」の刊行ならびに講習会の開催	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：野口 貴文(東京大学) 幹事：巽 誉樹(関西電力)、道正 泰弘(名城大学) 委員：鹿毛 忠継(建築研究所)、笠井 浩(鹿島建設)、熊谷 周治(東北電力)、黒田 泰弘(清水建設)、小山 智幸(九州大学)、杉岡 克俊(東京電力ホールディング)、高岩 一彦(九州電力)、藤巻 敏之(建材試験センター)、本間 大輔(竹中工務店)、峯 秀和(FA協会/関電パワーテック)、山本武志(電力中央研究所)	
設置WG (WG名：目的)		
2022年度予算	140,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	6回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 本文・解説の査読対応を行った。 2. 研究成果として、概ね目標を達成できたが、一部内容(アルカリシリカ反応対策、環境性等)において更に最新の知見を反映しなければならない必要性が生じたことから、新たに小委員会(フライアッシュを使用するコンクリートの調合設計・施工指針改定小委員会)を立ち上げ、2024年3月まで活動することとした。
委員会活動の問題点・課題	対面による会議とオンライン会議を併用して効率よく実施する。